



- 会長／中村文明
- 副会長／林 尚孝・高木克彦
- 幹事／小口 隆
- R 情報(会報)委員長／杉村邦彦

- 事務所／岡谷市中央町 1-4-1 ・ Tel/0266-22-6939 ・ Fax/0266-23-6939
URL: okayarc.org ・ Email: okayarc@bz04.plala.or.jp
- 例会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

第 2926 回例会 2020 年（令和 2 年）12 月 15 日(火)

点 鐘：中村文明 司 会：濱 俊弘
斉 唱：それこそロータリー
ラッキーNo：NO. 23 林広一郎
米山功労者表彰：第 38 回メジャードナー 宮坂宥洪

会長挨拶

師走になり、今年も残すところ半月になりました。
61期のロータリー活動も7月から始まり1/2が過ぎようとしています。
今年のやり残した目標を達成できるように努力しております。
もうすぐクリスマスです。今年のクリスマスは、ステイホーム家庭で楽しんでくださいとのことです。
クリスマスといえば、プレゼント・豪華な料理・ケーキ等が定番です。
ケーキと言っても各国で色々な種類があります。
日本・・・生クリームショートケーキ(アメリカの影響)
イギリス・・・クリスマスプディング(レーズン、アーモンドスパイスの効いたパウンドケーキ)
ドイツ・・・レープクーヘン・シュトレン(はちみつを混ぜたクッキー・砂糖漬けフルーツを入れたイーストを使ったパウンドケーキ)
イタリア・・・パネトーネ(ヨーグルトを使用したドライフルーツ入発酵ケーキパン)
等、色々・・・

今年是世界中で外出を控え、少人数家族単位での年末年始を迎えます。これも良しとし限られた中で楽しみたいものです。

一日でも早く、新型コロナウイルス感染症対策の特効薬とワクチンが世界に行き渡るように希望します。

幹事報告

- 年内の例会は本日が最後となります。次回は1月12日(火)、昼の通常例会で会場はメモリーです。年明けの感染状況によっては短縮となる場合もありますのでご承知おきください。
- 後期会費が1月4日に振替となりますので、事前に入金の確認をお願いします。
- 第35回米山功労クラブ感謝状をいただきましたので、ご報告いたします。



新会員卓話「自動車の発達とこれからの展望について」

片倉勝昭会員

岡谷ロータリークラブ会員の皆様、
大和製作所の片倉と申します。

本日は新会員卓話にご推挙いただきまして誠にありがとうございます。

卓話のテーマは自由との事で諸々検討させていただきました。

手っ取り早いところで、当社の事業内容についてお話をさせていただこうかとも思いましたが、協力企業の社長様方も同席されている中で、あまりこちらの手の内を明かすのは得策ではないと思い、同テーマは見送りとさせていただきます。

あしからずご了承のほどお願い申し上げます。

ところで当社におきましては、その売上の80%以上が自動車部品に占められています。

現在、自動車産業は100年に1度の変革期であると、盛んに報道されておりますが、改めて、自動車について、その創成期から今日にかけて、更に今後の展望について私見を交えつつ述べさせていただきたいと思っております。

多分に当方の希望的観測も含まれた内容になっているかとは存じますが、何らかの参考になりますれば幸いに存じます。

それでは発表に移らせていただきます。（資料参照）

自動車とは、発動機の動力によって車輪を回転させ、軌条や架線を用いず路上を走る車のことです。

自動車は先ずは蒸気自動車として、その産声をあげました。因みに蒸気自動車の発明は蒸気機関車や蒸気船よりも早い1769年であり、1920年代まで製造、販売されてきました。意外な事にガソリン自動車と共存していた時期もあるとはいえ、その歴史は150年にも及んだわけであります。

1870年代に入り現在も主流となっているガソリン自動車が誕生しました。初期の段階では蒸気自動車よりも操作性、騒音で劣っておりましたが、その後、改良を重ねる事により騒音も低減、起動が蒸気自動車よりも容易な事、訓練をつめば誰でも運転できる事、そして何よりも蒸気自動車の様に大量の煙と蒸気を周辺に拡散させない事が大きな優位性となり普及してゆきました。

1908年代、T型フォードは流れ作業による大量生産方式により、大幅なコストダウンが実現され、自動車の大衆化が一気に進行しました。

こうして自動車産業が大きく成長してゆくわけであります。

第2次世界大戦終了後、戦時中の航空機メーカーが自動車製造に多数参入しました。

航空機製造で培ったレシプロエンジンのノウハウが自動車に注入され、自動車は更に高性能化して今日に至っています。

しかしながら急速の増えてきた自動車は、その地球環境に与える影響も大きくなってきました。

今後、自動車はどこに向かってゆくのでしょうか？

自動車部品製造に携わる当社としても注視してゆきたく思います。
ご清聴ありがとうございました。



自動車の発達とこれからの展望について

自動車(じどうしゃ)とは、原動機の動力によって車輪を回転させ、軌条や架線を用いずに路上を走る車をいう。

～ 自動車 その黎明期 ～

蒸気自動車

1820年代～1920年代



最初の自動車は蒸気機関で動く蒸気自動車であった。

起動に手間がかかる事
常に給水が必要な事
環境負荷が大きい事
(煙、熱、蒸気)
以上の事由から淘汰されていった

ガソリン自動車

1870年代～現在



起動が蒸気機関よりも容易
訓練すれば誰でも運転できる

“目に覚える環境負荷”が
蒸気自動車よりも少ない



大量生産

大量生産によるコストダウン。
自動車の大衆化。

個人の行動半径を大きく拡大させた。

自動車の大量生産は多数の部品があつて初めて可能であり、その国の経済を支える重要な産業に成長した。

モータリゼーションの発達



～ 産業としての自動車 ～



～ 自動車 負の側面 ～

交通事故



大気汚染と環境破壊



～ 自動車 今後の展望 ～

電気自動車



燃料電池車



初の電気自動車はガソリン自動車の5年前に市販されていた

ニコニコボックス

片倉勝昭 本日は新会員卓話にご推挙いただきまして誠にありがとうございます。よろしく願いいたします。

今井康善・梅垣和彦・江黒寛文・太田博久・大滝祐吉・小口国之・小口 隆・小口泰史・小口裕司・尾関秀雄・笠原新太郎・片桐伸介・北澤洋之介・小宮山英利・佐伯克己・薩摩 建・佐藤有司・杉村邦彦・瀬戸雅三・高木昭好・高木克彦・竹村一幸・中嶋孝一・中村文明・濱 毅・濱 俊弘・林広一郎・宮坂晃介・宮坂 伸・宮坂宥洪・宮澤由己・守屋麻里・矢島 進・矢島 貴・矢島 実・山岡俊幸・山岸邦太郎・山崎典夫 今年最後の例会です。片倉会員の卓話を楽しみにしています。皆様良いお年をお迎えください。

出席報告

会員数48名、出席者41名、出席率85.42%

Rotary



2020-2021 年度RIテーマ

ロータリーは機会の扉を開く

Rotary Opens Opportunities



ロータリーは機会の扉を開く